



三井小学校だより

教育目標 「自分を高める子」を育てる

*よく考え やり通す子 *心の豊かな子 *体のじょうぶな子 文責 清水 昭浩

電話 0768(26)1110 e-mail mies201@po.city.wajima.ishikawa.jp

第10号
令和2年12月21日
輪島市立三井小学校

令和2年もあとわずか 今年を振り返ると

令和2年「子年」も残すところあと10日足らずとなりました。今年は、世界中がコロナ禍の影響を受けて大変な1年となってしまいました。昨年の師走の段階では、このような1年になろうとは思ってもみませんでした。皆さんもおそらく同じお気持ちではないかと思えます。全国の学校は、3月と4月中旬から5月まで臨時休業となりました。また、東京オリンピックも延期となりました。三密の回避や人と会う時には必ずマスクをすることがあたり前の状態が続いています。「新しい生活様式」が国民に浸透していますが、国民だれしも「早く元の日常に戻ってほしい」と願うばかりかと思えます。

そんな中でも、三井っ子たちは元気に学校生活を送ってくれました。朝、スクールバスから18人全員が元気に降りてくる姿を見ると安心します。授業や休み時間に垣間見せる子供達の「明るい笑顔」を見るとうれしくなります。臨時休業中の子供達のいない学校は、本当に寂しい限りでした。そのことを経験したからこそ、なおさら、あたり前の学校の日常風景を守っていかなければならないと強く感じます。

来る令和3年は「丑（牛）年」です。「丑（牛）年」の言われを紐解くと、十二支の動物の中で最も動きが緩やかで歩みの遅い丑（牛）の年は、「先を急がず一步一步着実に物事を進めることが大切な年」と言われているそうです。また、十二支の2番目の干支であることから、「子年にまいた種が芽を出して成長する時期」とされ、「結果につながる道をコツコツと作っていく基礎を積み上げていく時期」なのだそうです。この言われのように、一步一步前進できる年になるようにしたいものです。

保護者の皆様、そして地域の皆様、今年一年、三井小学校に温かいご支援を賜り、誠にありがとうございました。来年も引き続きご厚情を賜りますようお願い申し上げます。それでは、皆様、良いお年をお迎えください。



校長 板岡 和之

《お願い》 マスク着用・手洗い・換気・3密回避・・・新しい生活様式の継続を

新しい生活様式のもと、感染予防の対策として行ってきた「マスクの着用」、「手洗い・換気の徹底」、「3密の回避」などの対策を今後も継続していきます。ご家庭でもお子様の健康管理等にご協力くださいますようお願いいたします。

また、子供達に配付される冬休みの生活のきまりを一緒に見ていただき、ご家庭でも休み中の生活について話し合い、約束ごと等のご確認をお願いします。



〇思いを込めて・・・卒業制作沈金

11月26日（木）6年生が、輪島漆芸美術館で、沈金の卒業制作づくりに取り組みました。一彫り、一彫り思いを込めて彫りました。一生の思い出に残るすてきな作品ができました。



〇4人が力を合わせて・・・全校集会

12月4日（金）全校集会がありました。12月は、1・2年生の発表の番です。1・2年生は、音楽と国語で学習したことを発表しました。はじめに、4人で「かぼちゃ」の合唱と合奏をしました。音楽に合わせて、リズムよく、カスタネットやタンバリンなどの打楽器の音を重ねることができました。次は、1年生が、「ともだちしょうかい」を発表しました。お互いに、今、一番楽しいことを友達に聞いて、文章にして発表しました。二人のマイブームは、「走ること」と「鉄棒」だそうです。最後に、2年生が、「おもちゃのつくり方」を紹介しました。「くうきほう」と「マラカス」のつくり方です。つくり方の順序が分かる言葉を使って書くことができました。1年生がアシスタントでおもちゃを持って説明のお手伝いをしました。1・2年生お互いに力を合わせて発表することができました。感想発表では、全校児童が自分の感想を発表することができました。



〇いつもありがとうございます。・・・読み聞かせ

12月8日（火）今年最後の読み聞かせがありました。子供達は、月1回のこの時間をとても楽しみにしています。この日、山下さんが読み聞かせをしてくださった本の題名は、「山のとしよかん」と「とんでもない」でした。「山のとしよかん」は、山里にひとりですおばあさんが、ある夜に、不思議な男の子になつかしい絵本を読んであげました。すると男の子は、毎晩やってくるようになり、不思議に思ったおばあさんは…。続きはお子さんに聞いてみてください。

「とんでもない」は、「ぼくはどこにでもいるふつうの子」という男の子のつぶやきから、お話は始まります。よろいのようなりっぱな皮があって、サイはかっこいいなあという「とんでもない」とサイが答えて…ウサギやキリンなど、次々に自分の悩みをうちあけていきます。みんなそれぞれに悩みがあることを楽しいユーモアで描かれていました。他の人の立場になって、自分から見えない部分、知らない部分を考えることは、大人でも難しいことですが、そのことを楽しみながら教えてくれる作品でした。子供達のためにいつも楽しい時間をありがとうございます。



